

会 議 録

会議名	平成28年度 第4回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成28年11月7日(月) 13:30~14:30
開催場所	丸亀市役所 本館3階特別会議室
出席者	<p>出席委員 赤熊一弘、岡本恵子、三輪千種、森茂、吉田世津子、佐藤常光</p> <p>欠席委員 岩永十紀子、藤川澄子</p> <p>事務局 (市長公室政策課) 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、担当長 志村芳隆、主任 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 外部評価報告書(案)について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	ただ今より第4回丸亀市行政評価委員会を開会します。資料はお揃いのようなので、以後の進行は会長に議長をお願いします。
岡本会長	<p>議事に入ります前に、本日6名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>それでは、議事の1「外部評価報告書(案)について」事務局より説明をお願いします。</p>
政策課 宇野	<資料に基づき説明>
岡本会長	<p>それでは、報告書(案)での表現の修正や追加等があればご意見をお願いします。今回の評価結果は改善が多かったですが、予算をカットするべきというものではなく、事業内容の充実を求める意見が多かったように思います。</p> <p>学校教育サポート事業費の評価の根拠のなかで、表現のつながりがおかしい箇所がありますので、「子どもたちのスマホ等の利用実態を把握し、現状に即したはじめ等の防止対策を進める必要がある」とした方がよいかと思えます。</p> <p>そのほか、特にご意見等もないようですので、先ほどの点を修正して報告書としたいと思えます。この後の流れの説明をお願いします。</p>

<p>山地政策課長</p>	<p>委員の皆様には、タイトなスケジュールのなかで、長時間のヒアリング、会議外での資料の作成などお手数をおかけしました。行政内部の評価では気づかないこと、また、これまでの経緯や関係者などから見直すことが難しい面があるなかで、皆様方から率直で的確なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>これまで外部評価は、結果を担当課に伝え、評価の趣旨を踏まえて次年度以降の取組みに反映することとしておりました。今回からは、財務課・政策課・担当課が評価結果を踏まえながら、予算編成作業にあたることとしております。今お配りしています「行政評価事業調書」を、平成29年度予算編成要領のなかに加え、外部評価の5事業について、予算編成の状況を把握してまいりたいと思います。今後、確かに予算額が思ったほど望めない場合もあろうかと思いますが、金額だけでなく内容を見直すなど、予算編成作業の経過を、行政評価委員の皆様にも説明できるようにしてまいりたいと考えております。PDCAサイクルのA（改善）まで含めて、行政評価システムの確立を図ってまいりたいと思います。</p> <p>今年度の作業は終わりになりますが、来年度は総合計画の見直しの時期で、来年度の外部評価のやり方については、委員の皆様と協議しながら進めていきたいと考えています。前回の総合計画の見直しの際には、個別事業でなく、総合計画に定める35の施策に対して評価をしてもらっていますが、短期間の作業の中で本当にそのやり方が効果があるのかどうかを含めて、相談してまいりたいと考えております。</p> <p>それでは、この後、2時30分から市長への報告書提出ということで、お願いいたします。</p>
<p>岡本会長</p>	<p>予算編成の取組みが変わったことはわかりましたが、特に今回の評価結果は、予算額の増減の問題ではなく、事業内容についての充実・改善といったことがポイントだったかと思います。そうした点はどう管理するのでしょうか。</p>
<p>山地政策課長</p>	<p>先ほどの調書のなかにあります「所管課の対応」欄の内容により、評価結果に対する対応を確認していきたいと考えています。</p>
<p>赤熊委員</p>	<p>毎年5つずつの事業を評価していくのであれば、全ての事業を評価することはできないことになります。</p>
<p>山地政策課長</p>	<p>これまでは、金額の大きい事業や重点事業をピックアップして、外部評価を行ってきました。確かに35の施策の中で、評価事業のばらつきはあったかと思っています。</p>

赤熊委員	外部評価に対する対応の結果は、いつ知らせてもらえますか。
山地政策課長	<p>結果は、来年度の最初の行政評価委員会で、5事業に対する取り組み状況の報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>市長への報告書提出後、各課に対しては、個別に報告書について説明します。また、庁議でも報告し、全庁的に評価結果の周知を行うこととしています。</p>
佐藤委員	今回は取組み内容の改善が主でしたので、予算額だけでなく、各課の対応が具体的にわかるようお願いできればと思います。
岡本会長	PDCAサイクルがうまく回っていないのであれば、その仕組みを改善し、行政評価自体を確かなものにして、職員一人一人の事業に対する検証意識を深めていくようにするのが、政策課の役割だと思います。
富士川副課長	予算に反映できなくても、内容を改善できたかどうかの説明ができなかったことは、庁内的に憂慮すべきことだと思います。こうした点を踏まえ、職員の意識の部分まで政策課が積極的に関わって、外部評価結果を反映させていこうとする取組みの一つが、今回お示しした調書でございます。
岡本会長	評価結果を少しでも反映させていこうという取組みは良いと思います。それと、所管課へのヒアリングが有意義なものとなるように、ルールづくりは必要かと思います。
山地政策課長	来年度以降は、担当課に対して細かい点まで説明したいと思います。
	<p style="text-align: right;">(会議終了)</p> <p><会議終了後、市長へ「平成 28 年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書」を提出></p>